

令和4年度「学校評価」(第三者評価)について

令和4年12月に生徒・保護者・教職員を対象に実施した学校評価アンケートに対して、令和5年2月17日(金)の学校評議会にて結果を報告し、ご意見をいただきました。(学校関係者評価)それを踏まえて、3月20日(月)に第三者評価員として増田年男様(茨城県教育研修センター教職教育課主査)をお招きし、第三者評価委員会を実施いたしました。

委員会では、学校の組織運営や指導・管理の状況、家庭・地域との連携協力の状況等についてのヒアリングが行われました。後日、第三者評価の評価書が提出されましたので、お知らせいたします。

清真学園高等学校・中学校
第三者評価 評価書

第三者評価委員会

増田 年男

〔評価項目・観点〕

< 1 > 組織運営等の状況

	評価			
	適	やや適	やや不適	不適
1 学校の組織運営の状況				
①着実に学校改善を図るために、校務分掌や主任制が適切に機能するなど、組織的な運営・責任体制が整備されているか	A	B	C	D
②勤務時間管理や職専免研修の承認状況等、サービス監督が適切に行われているか	A	B	C	D
③危機管理やリスク管理、情報管理等の方針が示され、関係者に周知されているか	A	B	C	D
④生徒と向き合う時間を確保し、生徒に対して効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革が推進されているか。 例：会議・分掌業務、学校行事の精選や見直し、部活動改革、ICT活用による業務改善 等	A	B	C	D
2 学校と設置者の連携の状況				
①設置者の示す明確な教育方針等に基づいて教育目標を設定し、教育活動その他の学校運営を行っているか	A	B	C	D
②学校と設置者が、生徒の状況（学力等の状況や問題行動等）や安全管理等（不審者情報等）に関する情報を適切に共有しているか	A	B	C	D
③学校が課題と考える事項について設置者と共通理解が図られているか	A	B	C	D
④学校と設置者が連携し、施設・設備の整備・活用等が適切に図られているか	A	B	C	D
⑤設置者が管理する費用の経理など、財務運営が適切に行われているか	A	B	C	D
3 目標設定と自己評価の状況				

①学校の状況を踏まえ重点化された中・短期の目標が定められているか	A	B	C	D
②自己評価の結果が具体的な学校運営の改善に活用されているか	A	B	C	D
③外部アンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としているか、また生徒・保護者の匿名性の担保に配慮しているか	A	B	C	D

4 学校関係者評価の状況

①学校関係者評価が自己評価の結果を踏まえて実施されているか	A	B	C	D
-------------------------------	---	---	---	---

所見

○これまで実施してきた日曜日の日直の制度を廃止し、教職員の勤務負担を軽減した。教職員の働き方を積極的に検討しようとする、設置者及び学校の姿勢を評価することができる。

△ワークライフバランスの視点から、さらに勤務内容等の検討を進める必要がある。

○学校教育目標の実現のために、自己評価、学校関係者評価を活用して学校改善を組織的に進めようとしている。

○週1回開かれる設置者と学校の幹部による情報共有の会議により、連携して学校の改善と変容を推進している。この組織を効果的に運用している点が評価できる。特に、単なる情報共有の場にとどめず、具体的な取組を行っている。換言すればPDCAサイクルがうまく機能しているといえる。

○：評価できる事柄 △：検討を要する事柄

< 2 > 授業等の状況

5 教育課程等の状況	評価			
	適	やや適	やや不適	不適
①学校の教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、その考え方について教職員間で共有されているか	A	B	C	D
②生徒の学力・体力の状況を把握し、それを踏まえて教育課程が編成され、PDCAサイクルに基づいて適切に改善されているか	A	B	C	D
③体験活動、学校行事などが、適切な管理体制の下に実施されているか	A	B	C	D
④学習指導要領や設置者が定める基準にのっとり、学校全体として、生徒の発達段階や学力、能力に即した指導が行われているか	A	B	C	D

⑤スーパーサイエンスハイスクール指定の趣旨や目的を踏まえて、知識を相互に関連付けけて深く理解したり、情報を精査して自己の考えを形成したりする「深い学び」が実現できているか	A	B	C	D
---	---	---	---	---

6 特別支援教育の状況

①特別支援教育のための校内支援体制（校内委員会の設置、特別支援教育コーディネータの指名、研修の実施等）が適切に整備されているか	A	B	C	D
②特別な支援を必要とする生徒について、個別の指導計画や個別の教育支援計画が適切に作成されているか	A	B	C	D
③特別な支援を必要とする生徒について、医療、福祉など関係機関との連携が適切に図られているか	A	B	C	D

7 教職員の研修の状況

①授業研究を全教員が行うことや、授業研究を継続的に実施することなどを通じ、授業改善に全校的に取り組んでいるか	A	B	C	D
②教職員が積極的に校内研修・校外研修に参加しているか	A	B	C	D
③校長等の管理職が定期的に授業観察を行い、教員に対して適切な指導・助言をしているか	A	B	C	D

所見
 ○特別支援教育については、教職員の理解や具体的対応の研修等、校内において課題が多いが、今年度から特別支援教育における「生徒支援員」を2人雇用し配置する等、配慮を要する生徒への支援について積極的な学校運営を目指している。（このことは、教職員の働き方改革にもつながる。）
 ○ICTを活用したり、生徒の学習活動の様子を見たりしながら授業を展開している点は評価できる。また、多くの生徒が積極的に授業に取り組んでいる姿は本校の特徴である。
 △しかし、ICT活用により教師からの一方的な働きかけになっている面もあるので、ICT活用による授業展開を工夫することが必要である。
 △学習状況の中・下位者への効果的な補充的指導が、さらに望まれる。

○：評価できる事柄 △：検討を要する事柄

<p>< 3 > 指導・管理の状況</p> <p>8 生徒指導の状況</p>	評価			
	適	やや適	やや不適	不適

①学校の教職員全体で生徒の状況についての理解を共有し、生徒指導に取り組む体制が整備されているか	A	B	C	D
②スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携が効果的になされているか	A	B	C	D
③生徒指導のための教育相談が計画的に行われているか	A	B	C	D

9 保健管理の状況

①生徒の保健管理（薬物乱用防止、心のケア等を含む）のための体制が整備され、保健指導・保健相談が適切に実施されているか	A	B	C	D
②日常の健康観察や、疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組、健康診断が適切に実施されているか	A	B	C	D

10 安全管理の状況

①学校事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等が作成され、活用されているか	A	B	C	D
②校舎や通学路等の安全点検や教職員・生徒の安全対応能力の向上を図るための取組が定期的に行われているか	A	B	C	D

11 キャリア教育（進路指導）の状況

①学校の教職員全体として組織的にキャリア教育（進路指導）に取り組んでいるか	A	B	C	D
②進路相談（キャリア・カウンセリング）が適切に実施されているか	A	B	C	D
③生徒の適切な勤労観・職業観の形成や社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力・態度を育成するための、体系的・系統的な指導が行われているか	A	B	C	D

12 部活動の状況

①部活動が、適切な管理体制の下に積極的に実施されているか	A	B	C	D
------------------------------	---	---	---	---

所見

○部活動において顧問等のサポートを行う「部活動指導員」を3人雇用し配置したことにより、生徒はより専門的な指導を受けることができる。（このことは、教職員の働き方改革へつながる。）
 ○地方国立大学に関する積極的・具体的な情報提供を行う等、これまでの進学指導に改善を加えることで生徒の進路選択の幅が広がり、生徒の納得度が高まった進路実績を残すことができた。
 ○保健室やSCによる教育相談室を利用する生徒が多い傾向にある。その生徒個々のアセスメントや原因分析の結果を、関係者で積極的に共有している状況は評価できる。
 △一方では、担任等の生徒への対応や支援が十分ではない状況があり、教育相談に関する研修が望まれる。

○：評価できる事柄 △：検討を要する事柄

< 4 > 家庭・地域との連携協力の状況

	評価			
	適	やや適	やや不適	不適
1 3 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況				
①生徒・保護者の学校への満足度や要望を把握するための取組を行っているか	A	B	C	D
②生徒・保護者から寄せられた具体的な意見や要望に、適切に対応しているか	A	B	C	D
1 4 学校に関する情報提供の状況				
①学校に関する様々な情報が、分かり易く、かつ適切な分量で提供されているか	A	B	C	D
②学校便りや学級便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の伝達・公開が適切に行われているか	A	B	C	D
③ホームページの活用をはじめ、広く地域住民等に学校に関する情報を周知し、提供するための取組を行っているか	A	B	C	D
1 5 保護者・地域社会との連携の状況				
①保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設けているか、また、保護者や地域住民から寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応しているか	A	B	C	D

所見

○オープンスクールについては、先輩や先生方の自由で優しい雰囲気を感じたことが学校選びの決め手となった、という生徒の意見が毎年数多くある。着実に効果を上げていると評価できる。

○入試広報部を中心として、HPを活用した学校からの情報発信に積極的に取り組んでいることは評価できる。

△生徒、保護者への満足度に関するアンケートに関しては、学校への満足度や要望を把握している点は評価できるが、結果を表す数字だけでなく具体的な要望も把握し丁寧に対応することが必要である。

○：評価できる事柄 △：検討を要する事柄

総合所見

◎本校の管理職に公立学校での管理職経験者が就任したことにより、公立学校での学校経営・運営の考え方や手立てが応用されることが多く見られるようになった。緒に就いたばかりであるので来年度以降の本校の変容が楽しみなところであるが、私立学校の独自性や特色を同時に成立させることが重要なことである。

◎時代のニーズと本校に求められる姿をふまえた学校経営ビジョンが、的確に校長から示されている。生徒を育てる目標と方向性が明確であり、課題達成に向けて設定された方法・手立ても適切である。社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要となる人間的な資質・能力を育み、高い志を持って国際的な視野で持続可能な社会の実現に挑戦できるリーダーの育成を目指している。

◎教師の一方的な授業が散見される。授業実践を通して「主体的な学びとは何か」「主体的な学びの授業のポイント」をまとめるとともに、1時間の授業や単元におけるICT利用の仕方などを教科の固有性に即して研究してほしい。今後、進学校においては重要な授業改善の視点である。